

# 豆田町並み通信

第34号

発行者  
豆田町伝  
建保存会  
23年1月

## 景気回復を願って！ 十日恵比須まつり開催

今年も景気回復・商売繁盛や家内安全を願って、豆田地区では三箇所で「十日恵比須」の祭典が行なわれました。

みゆき通り商店街主催の「十日恵比須」は小雪ふる中、八阪神社で行なわれ、神事には三百名が列をなし、また午後二時まえには用意した千二百本の福笹の配布が終了しました。

また三本松本通り商店街主催の「十日恵比須」にも多くの参拝者がおしかけ、恵比須酒などが当たる福引（2600本用意）に長蛇の列が出来ていました。



縁起干支が当たる福引（みゆき商店街）

また、丸山町の財津家前の「恵比須様」には町内の有志が集まり、今年の景気回復や家内安全を全員で祈っていました。



酒・缶ビールが当たる三本松恵比須



町内有志が祈願した丸山町恵比須

## 鬼火焚き行事 丸の内町 行なわれる！

一月九日（日）丸の内保育園前の河川敷で、丸の内青壮年団（卯野順一団長）主催の「鬼火焚き」行事が行なわれました。

夕刻五時すぎには、近隣の住民約百五十名が正月の飾り物などを持参して参加し、婦人部の用意した豚汁やぜんざいで暖を取りながら点火を待ちました。

朝とってきた青竹で組まれた「やぐら」に火が点ると、参加者は今年の無病息災を祈っていました。



点火された「やぐら」を見守る団員の皆さん

## 行事案内

### 町づくり講演会

「景観協定と町づくり」

商店・住民が結んだ三ツ星協定とは

日時 平成二十三年一月二十七日（木）

午後七時より

場所 旧古賀医院奥座敷（信金前）

講師 佐藤洋造氏

（由布市都市景観係・主任）

大田洋一郎氏

（湯の坪景観運営委・会長）

入場料 無料

### 第五十七回文化財防火デー

#### 「防火訓練」

防火訓練を左記の通り実施いたします。多くの方の参加をお願いします。

日時 平成二十三年一月二十六日（水）

午前九時五〇分～

場所 豆田の辻公園

終了後

屋外消火栓の使用方法

住宅用火災警報器の設置に関する

講習会を実施致します。

# 保存修理事業進む！平成22年度

平成二十二年度の保存修理事業が進められています。

上町通りの柞原家土蔵は、基礎の切石・玉石積が崩落状態にあったことから、この切石を修理復原し、その後土蔵を修理・復原する二カ年の工事が現在進められています。

工事にあたっては、使用可能な部材を出来る限り使用し、新しく使用する柱材についてはチョウナで仕上げるなど旧来の建築方式に拘っています。

棟梁の佐藤実さんによれば、「伝統工法を継承してほしい」との事で若者を現場で指導しながら修理を行っています。



伝統工法に拘って修理が進む柞原家土蔵



足場が組まれ、修理が進む坂本家

また、上町の坂本家は、安永二年(1773)の棟木が示すように江戸時代の貴重な建築物であることから、トタン下に残された履歴や残された写真などを参考に修理作業が進められています。

なお、修理後一階下屋は、江戸時代様式の軒先瓦が使用される事になっています。

残り二件の修理についても準備が整い次第、工事に取り掛かる予定です。

.....

また、街なみ環境整備事業を活用した修景事業も、丸山町の石井家土蔵で行われています。

# 皇太子殿下より「感想寄せられる！」

昨年十一月「国際車椅子マラソン」の閉会式に出席された皇太子殿下より日田市視察の後「豆田ではたいへん楽しく過ごすことができました」と述べられ、以下の「感想が寄せられましたので掲載させていただきます。」

二年ぶりに大分県を訪問することができ、うれしく思います。

これまで大分県は、学生時代を含め幾度となく訪問しましたが、昼食で立ち寄った由布市、今回視察した日田市はいずれも始めて訪れた地であり、特に由布岳やその山麓に広がる紅葉は見事でした。

日田市で最初に訪れたいいち日田蒸留所では、焼酎の製造過程について説明を受けました。

とりわけ蒸留の方法や熟成の工程により色や香りが全く異なる焼酎が製造されることに興味を覚えました。

また、味わってみてもその違いをおもしろく感じました。

続いて訪れた咸宜園では、秋風庵と最近開館した咸宜園教育研究センターでの展示とあわせ、江戸時代末期に多くの優れた人材を育てた広瀬淡窓の教育理念を理解するとともに、この日田市で生涯を教育に捧げた淡窓の人柄に思いをいたしました。

その後訪れた豆田町では、日田が天領として栄えた当時が偲ばれる町並みを視察し、また、町並み保存に尽力しておられる町民のみなさんからお話を伺う機会も得られ、深まる秋の散策を楽しみました。

最後に広瀬大分県知事から県政について説明を受け、大分県の現在の状況や取り組みについて、理解を深めることができました。(中略)

多くの県民のみなさんに、暖かく迎えていただき、感謝いたします。



豆田の皆さんに気軽に声をかけられる皇太子殿下